NIE実践報告

1．タイトル：「読解・思考・表現」する力を育てる新聞の活用について～「思考の種記事」スピーチ

2．学校名

大分県立大分豊府中学校

3．実践者名（代表者名）

佐藤由美子

4．学年

1年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語及びコミュニケーション/４０×３クラス　１２０人

6．単元（本時の学習課題）名

「『思考の種記事』を見つけ、友達に紹介しよう」

7．目標（狙い）

新聞の作りを知るとともに、新聞を毎日読む習慣をつける。
多くの記事の中から、自分の生き方や考え方に響く「心の種記事」を見つけ、友達にスピーチで紹介する。

8．評価の視点

・毎日、新聞に目を通し「思考の種記事」をさがす習慣が身についたか。
・自分の選んだ「思考の種記事」を使って、内容をまとめ、意見や感想を添えてスピーチすることができた

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①「新聞っておもしろいよ！」（新聞全体のつくりや、１面の記事の配置、見出しの意味などを学ぶ）１時間
②「見つけよう！思考の種」（記事の選び方やスピーチのやり方を学び、実践する）５時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞記事の種類や特徴を知り、考えながら読む。（1時間）
②視野を広げて、新聞記事を読み、「思考の種」記事を見つける。（1時間）
③「思考の種」記事を紹介し合って、深め合う。（３時間）
（留意点）
・同じ内容でも、新聞社や視点の違いで切り口が違い、いろいろな記事になっていることをおさえる。
・新聞における写真の重要性にも気付かせる。
・幅広く記事を読んで、新しい発見や感動があり、自分の生き方や考え方に影響を与えるものを「思考の種」記事としてスクラップし、それに【要約・感想・意見】を書かせる。その際、スクラップや文章の書き分けなどについても指導する。
・実物投影機で記事を提示しながら、スピーチを行い、話し方や聞き方を学ばせる。
・記事について、意見を交流させ、視野を広げて多角的なものの見方を身につけさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

今回の活動では、多角的に物事を見て考える力や、自分の感動を他者に伝える（書く・話す）力が身につき、さらに友だちとの交流によって、他者と共感し深め合うことができた。又、新聞について学んだ知識を、その後の新聞づくりにいかそうとする意欲にもつながっていた。

12．成果と課題

生徒の感想に「新聞は、人と出会わせてくれるもの」という言葉があった。ここでいう「人」とは、記事に出てくる人はもちろん、その記事を書いた記者を始めとする作り手、読んで交流する友だちも含まれる。今回の一番の成果は、【個（見つける）】→【集団（交流する）】→【個（深める）】のサイクルによって、読解力・思考力・表現力の３つの力がうまく融合したことでないかと思う。又、この活動では生徒自身が、自らの語彙力や表現力を磨く必要性を実感し、それらの学習にも主体的に取り組む姿が見られた。来年度は、さらに「つけたい力」をより意識したしかけを考え、継続して取り組んでいきたいと思う。